

総合生産科学研究科の教育理念・目標

（教育理念）

工学・化学・水産学・環境科学・情報データ科学の技術と英知を結集し、再生可能エネルギー開発、水環境技術推進、国土強靱化・減災と環境との共生、水産資源の活用等、地域振興に根ざした技術革新と持続可能な社会構築に貢献し、炭素循環社会の実現に向けて、最先端技術を創出するとともに、グローバルな危機的課題を解決できる研究者、高度専門職業人を養成する。

（目標）

様々な分野の専門家の指導を受けながら、最先端技術や学問を修得しつつ、他分野を含む高度専門分野を修習することにより、多様な諸問題の解決に貢献できる能力を身につけさせる。

博士課程（5年一貫制）総合生産科学専攻の教育理念・目標

○グリーンシステム科学コース

持続可能社会構築や地球環境保全のために新しい技術と知を創出し、脱炭素社会の構築に向けて世界最先端技術の推進と海外の大学との国際連携を強化し、地球上で人類が安全に有機的な活動を行うことでカーボンニュートラルに貢献できる研究者及び高度専門職業人の養成を教育目標としている。

博士課程（5年一貫制）総合生産科学専攻のディプロマ・ポリシー

5年以上在学して所定の教育プログラムに定められた単位（45単位以上）を修得し、以下の能力を身につけ、提出した博士論文が、学位審査基準を満たし、最終試験に合格した者に対し、博士（工学）、博士（水産学）、博士（環境科学）又は博士（情報データ科学）の学位を授与する。

- (1) グリーンシステム科学が関わる高度な専門的・学際的知識を修得し、専門知識は国内外の研究を俯瞰した総説を執筆できるレベルにある。
- (2) 国際的視野に基づいた創造的・先導的な研究を主体的に推進できる能力を身につけている。
- (3) 国際性ある研究者としてスタートアップできるレベルの研究倫理，英語コミュニケーション能力，国際学会で口頭講演できるプレゼンテーション能力，英語論文作成力を身につけている。

博士課程（5年一貫制）総合生産科学専攻のカリキュラム・ポリシー

長崎大学のカリキュラム・ポリシーに沿って、学生が体系的かつ主体的に学修できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行う。5年一貫のカリキュラムによる継続的・計画的な指導を行い、修了後には国際的アカデミアで活躍できる研究者として必要な実力を、以下のように涵養する。

- (1) 研究者養成科目と国際実践科目で、国際的アカデミアで活躍できる研究者としての創造的・先導的な実践研究能力として、世界レベルの研究倫理、グローバルな視点での課題発見・探求能力、研究・マネジメント能力を修得します。更には、英語コミュニケーション能力、英語論文作成力、英語プレゼンテーション能力、国際的研究者としての実践力を修得します。そのため、特別演習では、国内外の研究を俯瞰した総説の執筆と発表、学外研究・実習では、国際的研究機関（海外大学等）での研究を義務づけます。
- (2) 高度基礎科目、先端技術科目で、俯瞰的視野に立って、広範な分野にわたるグリーンシステム科学に関する知識を修得するための高い基礎的学力を涵養します。
- (3) 博士前期課程相当2年間での総合演習、特別研究、共修科目群、インターンシップでは、学術の社会との関連を意識し、総合生産科学の広い分野への視座を養いつつ、自律した研究者として自ら育つための基礎的実力を、研究活動と並行して修得します。
- (4) 「特別講義」では、国内外の著名又は新進の研究者を招いた研究セミナーや企業からの講師を含む複数の教員による産学連携の講義を行い、学際的な知識を修得します。

(参考) 授業科目とディプロマ・ポリシーの対応表

養成する力 授業科目	高度な専門的・学際 的知識，国内外の研 究を俯瞰した総説を 執筆できる専門知識	国際的視野に基づい た創造的・先導的な 研究を主体的に推進 できる能力	国際性ある研究者と してスタートアップ できるレベルの研究 倫理，英語コミュニ ケーション能力，国 際学会で口頭講演で きるプレゼンテーシ ョン能力，英語論文 作成力
共修科目群		○	
インターンシップ・ PBL 演習		○	
研究者養成科目Ⅰ		○	○
先端技術科目Ⅰ	○	○	
高度基礎科目	○	○	
国際実践科目Ⅰ			○
総合演習		○	
特別研究Ⅰ		○	
特別研究Ⅱ		○	
研究者養成科目Ⅱ		○	○
先端技術科目Ⅱ	○	○	
国際実践科目Ⅱ			○
学外研究・実習			○
特別講義	○	○	
特別演習	○		

博士課程（5年一貫制）総合生産科学専攻のアドミッション・ポリシー

入学者に以下の学力・能力、資質・素養を求める。

- (1) 工学，水産学，環境科学又は情報データ科学のいずれかにおいて高い基礎学力がある。
- (2) 脱炭素社会の実現に向け，自然と共生する持続社会の発展に貢献する意思がある。
- (3) エネルギー・資源・新素材開発等の最先端技術を創出する意思がある。
- (4) 地球温暖化・食糧・資源枯渇化等の地球と人間が相互に関連する諸問題を解決する意思がある。
- (5) 国際的な立場で活躍し，課題発見・探求能力，研究計画・マネジメント能力を修得する強い意思がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

求める資質等		専門分野の 基礎学力	グリーンシス テム科学を学 ぶ姿勢と学力	国際的アカデ ミアで活躍で きる研究者に なろうとする 強い意志	研究者に必要 な素養と適性	国際性ある研 究者に必要な 英語力を修得 するための基 礎力
入試区分						
一般入試	英語					○
	口述試験 及び面接	◎	○	◎	○	
推薦入試	成績証明 書	◎			○	
	口述試験 及び面接	◎	○	◎	○	○
外国人 留学生入試	口述試験 (英語を 含む)	◎	○			○
	面接			◎	○	